

## 牛のサルモネラ症が発生しています！

10月に入り、宗谷管内において牛のサルモネラ症が1件発生しました。また、道内では9月以降、牛のサルモネラ症の発生が急増しており、サルモネラ・ティフィムリウムのほか、今年はサルモネラ・ダブリンによるサルモネラ症も発生しています。

牛のサルモネラ症では、主に発熱（40℃前後）や下痢（軟便～水様性、時に血便など）、呼吸器症状などが認められますが、搾乳牛では乳量が低下し、体力のない哺育牛では死亡する事例も多く、経済的な損失は甚大です。

急に気温が下がるこの時期は、牛の体力が落ちてサルモネラなどの病原体に感染しやすくなるので、発生防止対策を徹底しましょう。

## &lt; 宗谷管内 牛のサルモネラ症の発生状況 &gt;

発生年月		発生件数
H28年(2016年)	9月	2件
H29年(2017年)	4月	1件
H30年(2018年)	11月	2件
H31年(2019年)	4月	1件
R1年(2019年)	11月	2件
R2年(2020年)	10月	1件



サルモネラ症による水様性下痢

## &lt; サルモネラ症の発生防止対策 &gt;

- ◆ 農場出入り口に石灰帯、牛舎には踏込み消毒槽を設置し、消毒を徹底しましょう。
- ◆ 飼槽やウォーターカップ、使用器具は定期的に消毒しましょう。
- ◆ 野生動物の侵入防止対策を徹底しましょう。
- ◆ 飼養牛に異常が見られたら、すぐに獣医師の診察を受けましょう。

※ 多くの消毒薬（逆性石けん、塩素系消毒薬）や消石灰などがサルモネラ菌に対して有効です。



消石灰帯



長靴の消毒



野生動物対策



ほ乳器具の消毒

北海道宗谷家畜保健衛生所

電話：01634-2-2106

FAX：01634-2-4340